

平成26年度

石巻市教育委員会の活動状況に関する

点検及び評価報告書

平成26年9月

石巻市教育委員会

平成26年度 石巻市教育委員会の活動状況に関する 点検及び評価の実施について

1 事業の概要及び目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」ものとなっております。

また、点検及び評価の実施に当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価報告書を公表することにより、市民に対する教育行政の説明責任を果たすとともに、適正かつ効率的な教育行政の運営に資することを目的としております。

2 根拠法令

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○石巻市教育委員会の活動状況に関する点検及び評価実施要綱（平成20年教育委員会訓令第7号）

3 平成26年度 点検評価実施内容について

(1) 点検・評価の対象事業について

平成25年度に実施した「石巻市総合計画実施計画」及び「石巻市震災復興基本計画実施計画」への掲載事業のうち、子どもの安全・安心のため重点的に取り組むべき事業、将来に渡り長期的に継続していくべき事業として、学校教育分野で11事業、社会教育・保健体育分野で5事業の合計16事業を選定しました。

(2) 点検・評価の方法について

選定した事業について、事業調査票を作成し、平成25年度における取組実績及び成果の自己点検・評価を行い、この結果を基に学識経験者からの意見聴取を行い、本報告書を取りまとめました。

本報告書については、市議会へ報告するとともに市ホームページに掲載し、公表いたします。

平成26年度 石巻市教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

対象事業一覧

| 番号 | 所属 | 事業名 |
|----|---------|---|
| 1 | 学校教育課 | 適応指導教室運営事業 |
| 2 | 学校教育課 | 特別支援教育支援員配置事業 |
| 3 | 学校教育課 | 石巻・子どもの未来づくり事業 |
| 4 | 学校教育課 | いじめ・生徒指導問題対策事業 |
| 5 | 学校教育課 | 国際理解教育推進事業 |
| 6 | 学校教育課 | スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー配置事業 6-1 スクールカウンセラー配置事業 6-2 スクールソーシャルワーカー配置事業 6-3 ハイスクールカウンセラー配置事業 |
| 7 | 学校教育課 | 心のケア充実事業 |
| 8 | 学校安全推進課 | 防災教育充実事業 |
| 9 | 学校管理課 | 学校図書整備事業 9-1 学校図書整備事業(小学校) 9-2 学校図書整備事業(中学校) |
| 10 | 学校管理課 | 学校施設耐震補強事業 |
| 11 | 学校施設整備室 | 学校施設太陽光発電設備整備事業 |
| 12 | 生涯学習課 | ブックスタート事業 |
| 13 | 生涯学習課 | コラボスクール推進委託事業 |
| 14 | 生涯学習課 | 青少年文化芸術鑑賞事業 |
| 15 | 体育振興課 | スポーツ振興事業 |
| 16 | 石巻中央公民館 | 家庭教育学級開設事業 |

**平成26年度 石巻市教育委員会の活動状況に関する
点検及び評価に係る意見聴取会**

1 開催日時 平成26年7月29日（火） 午後1時30分 開会

2 開催場所 本庁舎6階 議会第2委員会室

3 学識経験者 2名

| 氏 名 | 役 職 等 |
|-----------|----------|
| 菅 井 吉 秀 氏 | 元住吉中学校校長 |
| 佐 藤 祐 樹 氏 | 河北文化協会会長 |

4 意見聴取会の進め方

| 番号 | 内 容 |
|----------------------|--|
| 1 | ・意見聴取会手順の確認 進行手順について、事務局より説明 |
| 2 | ・事業内容の説明 「平成26年度（平成25年度事業対象）教育委員会の活動状況に関する点検及び評価資料」の事業調査票 ①目的及び事業内容 ②取組実績 ③成果 ④成果に係る評価 の順に担当課から説明 |
| 3 | ・質疑応答 学識経験者から、取組実績等について質問を受け、担当課より回答 |
| 4 | ・学識経験者からの意見を聴取する |
| ※ 1事業ごとに番号2～4を繰り返し行う | |
| 5 | ・学識経験者からの全体を通しての総括的意見を聴取する |
| 6 | ・学識経験者の意見の反映 意見を付した報告書をまとめ、教育委員会において審議 |

5 学識経験者からの意見

○ 総括的意見について

菅井吉秀氏

教育委員会の各種事業は学校現場との関わりが非常に深いものがあります。特に教師に係る事業については、各校長の裁量に係ってくるわけですが、できるだけ教師の負担にならない方法で事業を進めるようお願いしたい。難しい面もあると思いますが、そのことによって多くのメリットが生まれてくることは、項目ごとの意見の中でも申し上げました。

また、事業の中で形骸化されているものは、場合によっては廃止、あるいは見直して精選するといった作業が必要であると思います。予算が伴う事業がほとんどですので、そういうことも含めて検討していただきたいと思います。

佐藤祐樹氏

事業全般に適正に推進されていると感じられます。いじめや不登校問題にはかなりデリケートな、そしていろいろ難しいところもたくさんあるかと思いますが、大切な子どもたちのために今後とも一層、ご努力、ご指導をお願いいたします。

さらに、震災後の心のケアは引き続きお願いするとともに、舞台・芸術の鑑賞や読書、運動を通じて心身ともに健康な子どもたちを育てていただきたいと思います。

○ 事業ごとの意見について

点検及び評価の対象事業ごとに記載

| 事業番号 | | 1 | 事業名 | | 適応指導教室運営事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-------|---|-----------|----------|------------------------|---------|-----------|--|--------|-----|-----|-----|-----------------------|-----|-----|------|-------------|-------|-------|-------|---------------------------|-------|-------|-------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 目 | 教育指導奨励費 | | (2) | 児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、適切な教材を準備し、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや成就感の醸成が図られた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果をあげている。 しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校を始めても、戻って来ってしまうこともあり、復帰への道のりは容易ではない。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>77件</td> <td>93件</td> <td>108件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>18.1%</td> <td>25.0%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>54.5%</td> <td>62.5%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | 不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数 | 77件 | 93件 | 108件 | 通所児童生徒の再登校率 | 18.1% | 25.0% | 20.0% | 通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む) | 54.5% | 62.5% | 40.0% |
| 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数 | 77件 | 93件 | 108件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通所児童生徒の再登校率 | 18.1% | 25.0% | 20.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む) | 54.5% | 62.5% | 40.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>平成25年度の不登校児童生徒は小・中合わせて191人であり、昨年度と比較すると若干減少してはいるが、相変わらず多い状況が続いている。各々の学校で改善の努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。</p> <p>適応指導教室を基盤とし、市民相談センター相談員、不登校対応相談員、スクールソーシャルワーカー、青少年育成員、いじめ・生徒指導問題対策委員会委員、民生委員・児童委員協議会委員らをメンバーとする市立小・中学校不登校児童生徒対応協議会が中心となって、その対策に当たっていくとともに、不登校傾向の児童生徒及びその保護者への調査等を行い、原因の解明及び対応策の確立を目指していくことが必要である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 不登校に陥っていく原因は、家族関係や交友関係など様々あり、対応が難しいと思います。小学校の低学年あるいは幼児期の子どもの育て方から考えなければならない大きな問題だと思います。幼稚園や小中学校の先生などがどこまで入っていけるのかも大きな課題のひとつであると思いますし、また、対応協議会では形式に流されないことを留意して会議を行っていただきたい。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 家庭環境、人間関係、友人関係など非常にデリケートな問題が含まれていると思います。できるだけ慎重に対応していただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 4,486,000 | 4,452,606 | | | 372,000 | 4,080,606 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 2 | 事業名 | | 特別支援教育支援員配置事業 | | | |
|------------|------------|---|------|----------|------------------------|------|------|--|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | |
| | 3 目 | 教育指導奨励費 | | (2) | 児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ | | () | |
| 目的及び事業内容 | | <p>通常学級に在籍している発達障害がある児童の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置 2 当該児童への支援の工夫</p> | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 30校に配置 石巻小、住吉小、門脇小、湊小、湊第二小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川第一小、大谷地小、二俣小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、桃生小、北上小、大原小、蛇田中</p> <p>2 通常学級における当該児童への支援 通常学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援をするなどし、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、渡波小学校長松浦達夫氏を講師を招聘し、「子どもの自立を支援する」の演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p> | | | | | | |
| 成果 | | <p>特別な支援を必要とする子どもの実情等に応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童の保護者や教職員から、「支援が充実したことで安心できる、感謝している」という声が多く寄せられている。</p> <p>また、研修会を実施したことで、支援員としてのスキルの向上を図るとともに、各学校に配置された支援員との情報交換をすることができ、支援員にとっては有意義なものであった。</p> | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>特別支援教育は、これまで以上に、通常学級における特別な支援の充実が求められていることから、特別支援教育支援員の存在は、障害がある児童生徒への支援や学級への学習指導等の充実につながるなど、大きな成果をあげている。学校や保護者からは、事業拡充を望む声が非常に大きく、今後、支援員の配置人数の拡充が必要である。</p> | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 前年と比較して、予算が倍増し、配置校も大幅に増となっており、感謝いたします。 本事業は、障害を持つ児童・生徒、そうでない児童・生徒、その両者の立場からみて大変ありがたい事業だと思います。予算や人材の確保も大変と思いますが、なお一層事業が充実するよう継続した取り組みをお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 本事業には経験や専門知識が必要であると思います。配置人数など事業の拡大が望まれているのであれば、予算の確保など現場に応えられるよう進めていただきたいと思います。</p> | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 44,144,000 | 41,262,533 | | | | 41,262,533 | | | |

| 事業番号 | | 3 | 事業名 | | 石巻・子どもの未来づくり事業 | | | |
|------------|------|---|-----------|----------|------------------------|------|-----------|--|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | |
| | 3 目 | 教育指導奨励費 | | (2) | 児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ | | () | |
| 目的及び事業内容 | | <p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の向上及び未来を生き抜く志の育成を図る。</p> <p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教員の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「小中連携による一貫した教育の充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。</p> <p>3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取り組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。</p> | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組</p> <p>(1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。</p> <p>(2) 子どもの未来づくりフォーラムを2回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。</p> <p>(3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。</p> <p>(4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果をまとめ、「事業報告書、実践事例集」にまとめ、活用を図った。</p> <p>(5) 志を強く持って生き抜くための具体的な実践として、小中学校が連携して弁論大会や体験活動の交流会等を実施した。</p> <p>2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組</p> <p>(1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。</p> <p>(2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。</p> <p>(3) 実践成果発表会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。</p> | | | | | | |
| 成果 | | <p>1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。</p> <p>2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。</p> <p>3 各推進地区で作成した家庭学習カードの活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。</p> <p>4 被災によって連携事業が困難となった学校があったが、それぞれ工夫して校区にとらわれない連携を行った。</p> | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>各地区の事業報告から推察すると、小・中連携の推進については一定の成果があると思われるが、生活習慣や家庭学習習慣の形成については、「家庭学習の手引き」の有効活用など、家庭との連携の在り方をさらに工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。</p> <p>また、教員の指導力向上については、取組を各地区に任せるだけでなく、教育委員会が主体となって研修会等を開催するなど取り組む必要がある。</p> | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】</p> <p>毎年様々な工夫がなされていてすばらしい取り組みだと思います。本事業は今後、定着していく事業と思いますが、小・中連携を考えると難しい面もありますし、先生方の負担を考えながら取り組んでいただきたい。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】</p> <p>小・中連携は難しいということですが、よりよい成果を上げるよう取り組んでいただきたい。また、研修会があるとよいとのことですので、教育委員会の主導で研修会を開催していただきたいと思います。</p> | | | | | | |
| (単位：円) | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| | | 3,596,000 | 2,655,668 | | | | 2,655,668 | |

| 事業番号 | | 4 | 事業名 | | いじめ・生徒指導問題対策事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------|---|---------|----------|------------------------|------|---------|--|----|--------|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|----|----|----|------|---|-----|-----|-------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 目 | 教育指導奨励費 | | (2) | 児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ生徒指導問題対策委員会の実施 2 いじめの防止や解決にかかる研修会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 いじめ・生徒指導問題対策委員会の実施 市内の生徒指導上の諸問題について、19名の委員が3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめ・生徒指導問題対策にかかる研修会の実施 (1) 生徒指導上の課題である不登校問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。 (2) 不登校児童生徒の増加に伴い、小・中学校の生徒指導担当者・養護教諭等を対象にして、市内の実態把握に努めるとともに、事例をもとに話し合いを行い、関係機関担当者から助言等受けることにより、各校での不登校対策の取り組みに活かすための研修会を3回実施した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>21件</td> <td>18件</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>29件</td> <td>28件</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51件</td> <td>47件</td> <td>92.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p> | | | | | | | 区分 | いじめの件数 | 解消件数 | 解消率 | 小学校 | 21件 | 18件 | 85.7% | 中学校 | 29件 | 28件 | 96.6% | 高校 | 1件 | 1件 | 100% | 計 | 51件 | 47件 | 92.2% |
| 区分 | いじめの件数 | 解消件数 | 解消率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | 21件 | 18件 | 85.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校 | 29件 | 28件 | 96.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校 | 1件 | 1件 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 51件 | 47件 | 92.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>いじめの解消率は90%を超えており、各学校において早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果が表れているととらえている。今後とも未然防止に向けての取組が必要である。いじめの件数を減らすことはもちろんのこと、起きたときの対応として、学校をあげてその解決、解消に努めることが大切である。日ごろの道徳の時間の指導をベースに、道徳教育の充実に全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 教師が普段の学校生活の中で子どもといつでもふれあえる、そういう余裕が出てくればいじめの件数は大きく減少するのではないかと、特に重大ないじめはなくなるのではないかと、子どもに寄り添うことで情報のアンテナが広がり、いじめの初期段階で対応できるのではないかと考えます。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 いじめの認知もさることながら、解消することはなかなか大変なことと聞いております。今後とも気を抜かず、解消に努めていただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 692,250 | 445,395 | | | | 445,395 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 5 | 事業名 | | 国際理解教育推進事業 | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-------|--|------------|----------|------------------------|------|------------|--|--------|-----|-----|-----|-----|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 3 節 | 新たな時代を創造する人材を育成する | | () | | | | | | | | | | | |
| | 3 目 | 教育指導奨励費 | | (1) | 広い視野を持つ人材をはぐくむ | | () | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>幼稚園、小中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中学校・高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園・けやき教室における国際理解教育の推進</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 市立中学校・高等学校 ALT 10名を配置し、週1～3回程度の配置で、1日当たり5時間程度の授業を行った。 また、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。</p> <p>2 市立小学校 5・6年生で行われている外国語活動の授業に合わせて週1回程度配置し、担任教師と連携しながら、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう活動を行った。</p> <p>3 市立幼稚園・けやき教室 月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>ALTを中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。また、前年度より割合は低下したものの、引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>82.0%</td> <td>85.0%</td> <td>79.0%</td> <td>80.4%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 主な指標項目 | H22 | H23 | H24 | H25 | ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生） | 82.0% | 85.0% | 79.0% | 80.4% |
| 主な指標項目 | H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | | |
| ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生） | 82.0% | 85.0% | 79.0% | 80.4% | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>平成23度から小学校で外国語活動が完全実施され、ALTと担任が協力して外国語活動の授業の充実に努めている。小学校においては、ALTとの授業が楽しいと感じる児童の割合は92.5%である。中学校においても、1年生については、83.1%と80%を超えているが、学力差が顕著になってくる2年生においては、77.8%で英語という教科そのものに対する苦手意識が、数値に表れ、他の学年に比べ少し低い値になっている。学校によっても差が見られるので、ALTの指導力を含め今後の改善について考えていく必要がある。</p> <p>また、ALTをJET（外国青年招致事業による任用）からNon-JET（民間事業者への業務委託）に段階的に切り替えていくことに関しては、その効果を比較検証したうえで取り組んでいきたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 予算が許されるのであれば、小・中・高校のできるだけ多くに配置していただき、国際理解教育推進事業をより一層充実していただくことを期待します。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 ALTとふれあうことで、正しい発音や文法、マナーや生活習慣を自然に学べるということは非常に良いことだと思います。私たちの頃は外国の方たちとふれあう機会もなかったので、どんどん続けていっていただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | |
| | | 44,652,000 | 44,410,872 | | | | 44,410,872 | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 6-1 | 事業名 | | スクールカウンセラー配置事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------|---|---------|----------|----------------|---------|-------|----------------------------|--------|-----|-----|-----|------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|-----------|--|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 章 | | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 節 | | | (1) | 未来の人を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 目 | 東日本大震災関係費 | | () | | | (3) | 子どものケアの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 スクールカウンセラーの配置 中学校全20校に配置（中学校カウンセラー及び広域スクールカウンセラー） 希望した小学校32校に配置（広域スクールカウンセラー）</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 中学校 年間35～38回、小学校 年間5～38回 (2) 1回あたりの時間（県で決定） 6～8時間</p> <p>3 カウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、エンカウンター実習など</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>中学校はもとより多くの小学校にもスクールカウンセラーが配置されており、スクールカウンセラーに相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>3,631件</td> <td>5,420件</td> <td>5,241件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>4,049人</td> <td>5,984人</td> <td>5,857人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H25相談人数割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>41.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>44.2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>14.7%</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | 相談件数 | 3,631件 | 5,420件 | 5,241件 | 相談人数 | 4,049人 | 5,984人 | 5,857人 | H25相談人数割合 | | 児童生徒 | 41.1% | 教職員 | 44.2% | 保護者 | 14.7% |
| 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談件数 | 3,631件 | 5,420件 | 5,241件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談人数 | 4,049人 | 5,984人 | 5,857人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25相談人数割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童生徒 | 41.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 44.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 14.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>相談の件数、人数とも増加の傾向である。多くの学校に配置できたことが成果につながっていると思われる。配置校の児童・生徒・保護者・教職員からの相談に対応することが、積極的な生徒指導につながっていくことも考えられ、今後も継続的な配置が必要である。また、震災後の心のケアの面からも、長期的にカウンセラーによる相談体制の充実を図っていくことが重要である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 教師の支えとなっている大事な事業であると思います。なお一層充実した事業となるよう期待します。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 カウンセリングは心のケアとしても大変必要なことと思います。特に震災後のケアはまだまだ必要だと思しますので、今後とも力を注いでいただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | （単位：円） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 550,000 | 283,995 | | | 283,995 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 6-2 | 事業名 | | スクールソーシャルワーカー配置事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|---|--------|-----|-------------------|-------|----------------------------|--|--------|---------|----------|------------|---------|------------|---------|------------|----------|------------|------------|------------|-----------|----|-------|--------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|------------|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|---------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 章 | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 節 | | (1) | 未来の人を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 目 | 東日本大震災関係費 | | () | | (3) | 子どものケアの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>小中学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働き掛けを行う。</p> <p>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークの構築と連携や調整に努める。</p> <p>3 市内小中学校における校内での支援体制やチーム体制の整備の支援を行う。</p> <p>4 市内小中学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>スクールソーシャルワーカーについて</p> <p>1 スクールソーシャルワーカーは5名が配置されており、児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市民相談センターなどの関係機関と連携して対応している。 また、震災後の児童生徒のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働き掛けしている。</p> <p>○配置状況(平成26年3月末現在) 5名配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>門脇小・大川小</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小・青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>稲井中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 訪問活動：勤務総日数延べ445日、うち家庭訪問延べ281件 連携した機関：児童相談所、健康推進課、市民相談センター（虐待防止センター）、精神科医、警察署等</p> | | | | | | | 拠点校 | 勤務時間、日数 | 門脇小・大川小 | 1日 6時間、週3日 | 向陽小・青葉中 | 1日 6時間、週2日 | 稲井中 | 1日 6時間、週2日 | 石巻市教育委員会 | 1日 6時間、週1日 | 万石浦中、桃生中 | 1日 6時間、週1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拠点校 | 勤務時間、日数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 門脇小・大川小 | 1日 6時間、週3日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 向陽小・青葉中 | 1日 6時間、週2日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 稲井中 | 1日 6時間、週2日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石巻市教育委員会 | 1日 6時間、週1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 万石浦中、桃生中 | 1日 6時間、週1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。</p> <p>3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。</p> <p>4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。</p> <p>5 スクールソーシャルワーカーを5名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。</p> <p>○支援対象児童生徒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>23人</td> <td>68人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>21人</td> <td>91人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○相談内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>72件</td> <td>8件</td> <td>25件</td> <td>30件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>暴力、非行・不良行為</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>家庭環境の問題</td> <td>70件</td> <td>8件</td> <td>12件</td> <td>37件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>49件</td> <td>6件</td> <td>15件</td> <td>23件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | 小学生 | 23人 | 68人 | 80人 | 中学生 | 21人 | 91人 | 100人 | 相談内容 | 件数 | 問題が解決 | 支援中で好転 | 支援中 | その他 | 不登校 | 72件 | 8件 | 25件 | 30件 | 9件 | 暴力、非行・不良行為 | 5件 | 1件 | 3件 | 1件 | 0件 | 児童虐待 | 5件 | 1件 | 3件 | 1件 | 1件 | 家庭環境の問題 | 70件 | 8件 | 12件 | 37件 | 13件 | その他 | 49件 | 6件 | 15件 | 23件 | 4件 |
| 主な指標項目 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 23人 | 68人 | 80人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 21人 | 91人 | 100人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談内容 | 件数 | 問題が解決 | 支援中で好転 | 支援中 | その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不登校 | 72件 | 8件 | 25件 | 30件 | 9件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 暴力、非行・不良行為 | 5件 | 1件 | 3件 | 1件 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童虐待 | 5件 | 1件 | 3件 | 1件 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭環境の問題 | 70件 | 8件 | 12件 | 37件 | 13件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 49件 | 6件 | 15件 | 23件 | 4件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>不登校、暴力行為をはじめとする問題行動等や家庭環境に起因する様々な問題、また、震災後の心のケアに資する問題等、スクールソーシャルワーカーが対応する問題は多岐にわたる。学校だけでは解決できない問題をスクールソーシャルワーカーが介入することによって、児童生徒、保護者、教職員それぞれが助けられている。スクールソーシャルワーカーの活動が理解され、学校と一体となって問題に対応するようになってきているため、今後も配置の継続が必要である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 事業の説明を受けただけで心が痛む思いです。担当の方々には頭が下がります。改善しなければならない部分もあるとは思いますが、一層のご努力に期待して、継続をよろしくお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 個人情報などの難しい部分も多いかとは思いますが、少し地域の協力を得てはどうでしょうか。例えば地域交換連絡協議会などの関係機関の情報を得てはどうかと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,690,000</td> <td>9,908,065</td> <td>9,908,065</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 11,690,000 | 9,908,065 | 9,908,065 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11,690,000 | 9,908,065 | 9,908,065 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 6-3 | 事業名 | | ハイスクールカウンセラー配置事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------|---|-----------|----------|------------------|-----------|----------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|----|-----|-----|---|------|-----|-----|----|------|--------|-----|------|----|------|---|------|------|----|------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 章 | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 節 | | (1) | 未来の人を育てる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 目 | 東日本大震災関係費 | | () | | (3) | 子どものケアの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリングに関する講座の実施（2回） (2) 教育相談情報交換会・ケース会議（6回）の実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。また、カウンセラーと教職員との情報交換やケース会議等を通じて、学校内で連携が取られ、心の問題を抱える生徒に対して適時な対応を行うことができた。特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>244件</td> <td>245件</td> <td>292件</td> <td>285件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>342人</td> <td>314人</td> <td>358人</td> <td>354人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H25相談人数内訳</th> <th>生徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女子高校</td> <td>77人</td> <td>87人</td> <td>5人</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>64人</td> <td>119人</td> <td>2人</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>141人</td> <td>206人</td> <td>7人</td> <td>354人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 生徒の相談内容は、多い順に、「家族関係」、「人間関係・友人関係」、「学校生活」である。 ※ 教職員の相談件数は、「情報交換」が127件、「生徒の対応」が5件、「その他」が1件、合計133件である。 ※ 「震災関係」の相談は、なかった。</p> | | | | | | 主な指標項目 | H22 | H23 | H24 | H25 | 相談件数 | 244件 | 245件 | 292件 | 285件 | 相談人数 | 342人 | 314人 | 358人 | 354人 | H25相談人数内訳 | 生徒 | 教職員 | 保護者 | 計 | 女子高校 | 77人 | 87人 | 5人 | 169人 | 女子商業高校 | 64人 | 119人 | 2人 | 185人 | 計 | 141人 | 206人 | 7人 | 354人 |
| 主な指標項目 | H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談件数 | 244件 | 245件 | 292件 | 285件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相談人数 | 342人 | 314人 | 358人 | 354人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25相談人数内訳 | 生徒 | 教職員 | 保護者 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子高校 | 77人 | 87人 | 5人 | 169人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女子商業高校 | 64人 | 119人 | 2人 | 185人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 141人 | 206人 | 7人 | 354人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>多感な時期にある高校生は心にかかえる悩みも多く、カウンセラーに話を聞いてもらうことによって支えられる部分も大きい。生徒の心を安定させ、落ち着いた学校生活を送らせるためには、カウンセラーによる相談体制を維持することは必要である。特に、生徒の問題行動は震災後3年目以降にピークを迎えると言われており、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 生徒の問題行動は「震災後3年目以降にピークを迎えると言われており」とあります。今後も引き続き取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 震災で母親を亡くした女子生徒が、在学中はカウンセリングを受けてだいぶ落ち着いていたのですが、卒業してからまた心が揺らいでいるケースがありました。今後とも重点的にカウンセリングを行っていただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1,878,000 | 1,846,700 | | | 1,846,700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 7 | 事業名 | | 心のケア充実事業 | | | |
|------------|---|--|------|----------|----------|------|------|----------------------------|
| 予算科目 | 款 | | 総合計画 | 第 章 | | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる |
| | 項 | | | 第 節 | | | (1) | 未来の人を育てる |
| | 目 | | | () | | | (3) | 子どものケアの実施 |
| 目的及び事業内容 | | <p>震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>1 医療専門家による巡回相談の実施 2 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施 3 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立</p> | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 医療専門家による巡回相談の実施 震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター国府台病院（千葉県）の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行っている。</p> <p>2 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施 市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態に関するデータを集約し、その結果について各園・学校にフィードバックを行い、支援や指導の充実に役立っている。</p> <p>3 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立 毎月、関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって、問題を抱える子どもたちに対するケース会議を行っている。</p> | | | | | | |
| 成果 | | <p>1 毎月、1～2名の児童精神科の医師が3日間石巻市に滞在し、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスをいただき、支援や指導に役立っていると同時に、必要な場合は、県内の病院につなぐケースもある。H25は、述べ33日間にわたって、125件の相談に対応いただいた。</p> <p>2 H23から継続して実態調査を行い、データに基づいて、支援や指導のアドバイスをいただいている。トラウマについては、H24とH25でさほど変化が見られないことから、一応落ち着いたとの判断をいただいた。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向だけでなく、学校の傾向や配慮を必要とする児童生徒についてもアドバイスいただいております、その後の指導に生かしている。</p> <p>3 「石巻市子ども支援関係者会議」の名称で関係機関が一堂に会し、毎月問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立っている。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、児童相談所、虐待防止センター、保護課、健康推進課、SSW、学校教育課、当該学校職員等</p> | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>相談活動に関しては、身近に専門家がないため、定期的に要請する学校もある。児童生徒本人のみならず、その養育に悩む保護者や指導に苦慮している教員のニーズは非常に高い。</p> <p>また、健康実態調査についても、継続して結果を累積することにより、児童生徒一人一人の過去から現在にわたる状態を把握することができ、積極的な支援や指導を行う上で役に立っている。</p> <p>子ども支援会議についても、学校単独では対応しきれない事例が多くなってきており、家庭の問題等について様々な立場からの情報をもとに話し合いを行うことができる機会として、大切な役割を担っている。</p> | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 被災地である本市にとって大変ありがたい事業であると思います。今後も継続できるように働きかけをしていただきたい。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 大変良い事業だと思っておりますので、今後、予算措置が必要になってでも継続していただきたいと思っております。</p> | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| | | 0 | 0 | | | | 0 | |

| 事業番号 | | 8 | 事業名 | | 防災教育充実事業 | | | |
|------------|-----------|---|------|-----------|----------|-------|----------------------------|--|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 章 | 復興計画 | (4) | 未来のための伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる | |
| | 1 項 | 教育総務費 | | 第 節 | | (1) | 未来の人を育てる | |
| | 7 目 | 東日本大震災関係費 | | () | | (3) | 子どものケアの実施 | |
| 目的及び事業内容 | | <p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応能力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応能力の育成のための学校教材等の作成</p> | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当者等で構成する学校防災推進会議において、市としての学校防災の今後の在り方について協議を行い、協議結果を基に具体的な事業を展開した。主な事業としては、防災（地震・津波）に係る「目指す児童・生徒像」の設定、災害時対応（地震・津波）市内小・中学校相互サポートシステムGOJO（互助）の設置や市内の全小中学生を対象とした「防災合言葉コンクール」を実施し、優秀作品を市報及び副読本に掲載した。</p> <p><平成25年度実績> 応募作品 2,463点 ・最優秀 1点、優秀 2点 優良 2点 佳作 10点 入選 45点 計60点</p> <p>2 防災教育副読本・実践事例集の発行 本市の実態に即した防災教育推進のため、防災教育副読本を継続作成した。防災教育副読本編集委員会が中心となり、発達段階に応じた防災教育が実践できるようにした。また、指導事例の累積と具体的な指導法の紹介を目的とし、副読本の実践事例集を作成した。</p> <p><平成25年度実績> ・防災教育副読本 小学校下学年用 1,700冊 小学校上学年用 1,750冊 中学校用 1,950冊 ・実践事例集 1,000冊</p> | | | | | | |
| 成果 | | <p>1 学校防災推進会議では、関係者が一堂に会して、これまでの学校防災に向けた課題や今後の取組について話合うことで、各校への具体の支援体制の確立が図られた。また、各校においては、地域の実情を踏まえ、学校防災についての連絡会議の実施や避難訓練での高台避難を想定しての三次避難などの改善が図られた実践的な防災訓練を実施することにより、児童生徒及び地域住民の防災への意識啓発に繋がった。</p> <p>2 各校での実践的な防災に向けた取組を行う上で、各校で有効的な教材として副読本や実践事例集の活用が図ることによって防災指導力の向上に繋がった。また、防災に向けた取組の中で防災に対する児童生徒の知識と主体に行動する姿勢が育まれた。そのことにより、防災対応力の向上に資することができた。</p> | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>学校防災推進会議等により、学校と地域の合同避難訓練の実施等を働きかけ、学校と地域の連携による学校防災の一層の充実を図る必要があるほか、防災教育副読本・実践事例集を活用して、児童生徒の防災対応能力の育成を図る必要がある。</p> <p>また、今後は防災教育副読本の指導事例集を有効活用することにより、より効果的かつ計画的・継続的な活用を促していく。</p> | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 被災地として、防災教育は必要不可欠な事業だと思いますので、より一層充実したものになるようお願いします。地震や津波以外にも災害はあります。想定外と考えることがないよう、しっかり取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 災害時の被害を少なくするためにとっても大切な事業であると思います。先細りにならないよう、継続して取り組むことが重要ですので、今後ともよろしくお願いします。</p> | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 1,910,000 | 1,070,510 | | | 1,070,510 | | | | |

| 事業番号 | | 9-1 | 事業名 | | 学校図書整備事業（小学校） | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|--|----------|-------|------------------------|------------|-----|--|-----|-----|-----|-----|---------|---------|---------|--------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | |
| | 2 項 | 小学校費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | |
| | 2 目 | 教育振興費 | | (3) | 充実した教育を行える環境をつくる | | () | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | 全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>市内全ての小学校において、学校図書館標準冊数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>前年度の比べ寄贈数は減ったが、補正を含めた予算措置額の増により購入数は約2倍となった。</p> <p><小学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,009冊</td> <td>32,143冊</td> <td>17,276冊</td> <td>24512冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | 10,009冊 | 32,143冊 | 17,276冊 | 24512冊 |
| H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | |
| 10,009冊 | 32,143冊 | 17,276冊 | 24512冊 | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>平成25年度は補正を含めた予算措置の増で購入冊数が大幅に増えたことにより、充足率も上がり蔵書内容の充実が図られた。</p> <p><小学校図書の充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.84%</td> <td>76.59%</td> <td>75.65%</td> <td>86.35%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成25年度末での充足率50%以上達成校 37校</p> <p>※ 充足率は市内小学校の平均である。</p> | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | 70.84% | 76.59% | 75.65% | 86.35% |
| H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | |
| 70.84% | 76.59% | 75.65% | 86.35% | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | 学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】</p> <p>学校図書の充足率向上に努められていることに感謝いたします。問題は学校現場での図書の活用状況にあると思います。担当教諭を教育委員会で集めて指導するといった方法もあるかと思いますが、図書のより一層の活用をお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】</p> <p>活字離れを食い止めるためにも図書環境の整備はとても大切なことであると思いますので、今後とも図書環境整備にご尽力をいただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | |
| | 23,000,000 | 22,896,386 | | | | 22,896,386 | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 9-2 | 事業名 | | 学校図書整備事業（中学校） | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---|------------|----------|------------------------|------|------------|--|-----|-----|-----|-----|---------|---------|--------|---------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | |
| | 3 項 | 中学校費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | |
| | 2 目 | 教育振興費 | | (3) | 充実した教育を行える環境をつくる | | () | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | 全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>市内全ての中学校において、学校図書館標準冊数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>前年度に比べ寄贈数は減ったが、補正を含めた予算措置額の増により購入冊数は約2倍となった。</p> <p><中学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,576冊</td> <td>10,475冊</td> <td>7,832冊</td> <td>17,497冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | 10,576冊 | 10,475冊 | 7,832冊 | 17,497冊 |
| H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | |
| 10,576冊 | 10,475冊 | 7,832冊 | 17,497冊 | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>図書の更新が進み廃棄数が増えた学校もあったが、補正予算を含めた予算措置額の増により購入冊数が大幅に増えたことにより、充足率も上がり蔵書内容の充実が図られた。</p> <p><中学校図書の充足率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68.22%</td> <td>61.29%</td> <td>64.95%</td> <td>69.77%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成25年度末での充足率50%以上達成校 17校</p> <p>※ 充足率は市内中学校の平均である。</p> | | | | | | | H22 | H23 | H24 | H25 | 68.22% | 61.29% | 64.95% | 69.77% |
| H22 | H23 | H24 | H25 | | | | | | | | | | | | | |
| 68.22% | 61.29% | 64.95% | 69.77% | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | 学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】</p> <p>小学校と同様に学校図書の充足率の向上に努められていることに感謝いたします。寄贈もあるようですが、私が教員時代に総合学習で百科事典が必要となった時、地域から使っていない百科事典を寄贈いただいたことがありました。このように地域の協力を願うという方法も増冊につながるかと思えます。また、司書教諭の配置についてもご努力をお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】</p> <p>読書によってリーディングスピード等が養われていくことがあるかと思えますので、今後とも読書環境の整備にご努力をお願いしたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | |
| | | 23,000,000 | 22,453,434 | | | | 22,453,434 | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 10 | 事業名 | | 学校施設耐震補強事業（小学校、中学校） | | | |
|------------|------|---|-------------|------------|---------------------|-----|----------------------------|--|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる | |
| | 2 項 | 小学校費 | | | | (1) | 未来の人を育てる | |
| | 3 目 | 中学校費 | | | | (1) | 学校教育・社会教育施設等の復旧・復興 | |
| 目的及び事業内容 | | 児童の安全確保を最優先とし、H16～H19年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設を「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき耐震補強工事を実施する。 | | | | | | |
| 取組実績 | | 1 耐震補強工事実施校 (1) 二俣小学校（校舎） (2) 開北小学校（屋内運動場） (3) 桃生中学校（校舎） (4) 稲井中学校（屋内運動場） (5) 貞山小学校（屋内運動場） (6) 石巻中学校（校舎） (7) 稲井小学校（校舎） (8) 飯野川第一小学校（校舎） (9) 鮎川小学校（校舎） (10) 大原小学校（屋内運動場） (11) 住吉幼稚園（園舎） | | | | | | |
| 成果 | | 耐震補強工事を実施した事により、児童が安心して安全に学習できる環境が拡大した。 また、学校施設は災害発生時の避難場所として重要な役割を担っているが、本事業により地域住民に安心と安全を提供する事ができた。 | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | 学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。 今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に実施したことで、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心の確保に寄与した。 | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | 【菅井吉秀 氏】 更なる安全・安心な教育環境づくりにご努力をお願いします。 【佐藤祐樹 氏】 災害時には避難所として重要な役割を担っており、耐震化は重要なことであると思います。何よりも児童・生徒が施設内でケガなどをすることのないように、今後とも教育環境の確保にご努力をお願いします。 | | | | | | |
| （単位：円） | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| | | 637,352,000 | 293,271,136 | 33,924,000 | 118,700,000 | | 140,647,136 | |

| 事業番号 | | 11 | 事業名 | | 学校施設太陽光発電設備整備事業 | | | |
|----------|---------|---|------------|------------|-----------------|------|-------|----------------------------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 章 | | 復興計画 | (4) | 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる |
| | 2 3 4 項 | 小学校費 中学校費 高等学校費 | | 第 節 | | | (1) | 未来の人を育てる |
| | 1 3,4 目 | 学校管理費 東日本大震災関係費 | | () | | | (1) | 学校教育・社会教育施設等の復旧・復興 |
| 目的及び事業内容 | | 太陽光発電システム等の整備により、停電時でも防災無線、テレビ、パソコン、照明灯等の使用に一定の電力を確保することができ、円滑な避難所運営が図られる。 | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>下記のとおり学校施設へ太陽光発電システム等を設置した。</p> <p>平成25年度 湊小、渡波小、向陽小、湊中</p> | | | | | | |
| 成 果 | | 学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っていることから、本事業により防災機能の強化を図ることができた。 | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用する公共施設及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。</p> <p>「学校施設の改修・改築に当たっての防災機能等の強化に関する基本的な考え方」に基づき、太陽光発電システム等を整備したことで、防災機能の強化を図ることに寄与した。</p> | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>【菅井吉秀 氏】 災害等の緊急事態の備えとして、太陽光発電は非常に有効ですので、更なる整備・拡充にご努力をお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 災害時には、いかに電力に頼り切りだったのか思い知らされました。せめて明るさだけでもあれば、だいぶ心の置き方が違うと思いますので、今後とも機能の充実をお願いします。</p> | | | | | | |
| (単位：円) | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| | | 109,917,862 | 98,108,540 | 96,464,908 | | | | 1,643,632 |

| 事業番号 | | 12 | 事業名 | | ブックスタート事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------|--|-----------|-------|-------------------------|------|-----|-----------|------|--------|---|------|--------|----------------|--|--------|---------------------|--|-------|---------------------|--|--------|----------------|--|-----|-------------------|--|------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 項 | 社会教育費 | | 第 1 節 | 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 目 | 社会教育総務費 | | (2) | 児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | 乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法についての保護者へ啓発を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>健康推進課で行っている3～4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>3～4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>1,077人</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>受診者数</td> <td>1,044人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>1,044人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対対象者）</td> <td></td> <td>96.9%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対受診者）</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>169人</td> </tr> </table> | | | | | | 3～4か月児健診 | 対象者数 | 1,077人 | 〃 | 受診者数 | 1,044人 | ブックスタートパック配付者数 | | 1,044人 | ブックスタートパック配付率（対対象者） | | 96.9% | ブックスタートパック配付率（対受診者） | | 100.0% | 読み聞かせボランティア会員数 | | 17人 | 読み聞かせボランティア延べ参加者数 | | 169人 |
| 3～4か月児健診 | 対象者数 | 1,077人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 〃 | 受診者数 | 1,044人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブックスタートパック配付者数 | | 1,044人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブックスタートパック配付率（対対象者） | | 96.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブックスタートパック配付率（対受診者） | | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読み聞かせボランティア会員数 | | 17人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読み聞かせボランティア延べ参加者数 | | 169人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <p>読み聞かせボランティアが乳児に絵本を見せ読み聞かせると、絵本を目で追い反応を示す。乳児の絵本との出会いに、保護者は一様に驚きの表情を浮かべ目を輝かせる。</p> <p>この絵本との出会いが、乳幼児期から発達段階に応じて習慣的に読み聞かせを行い、本や物語の楽しさや喜びを共有し読書活動を推進した。</p> <p>併せて読み聞かせ方法の指導などにより保護者への読み聞かせの啓発を行うことができた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>この事業は、絵本を配付するだけでなく、3～4か月児健診の場において、ボランティアの方に実際に読み聞かせを行っていただき、その場で配付しているので、ボランティアの確保が必須である。</p> <p>読み聞かせボランティア研修会を2回開催し、読み聞かせボランティアのスキルアップと読み聞かせボランティア数の増加に努めた。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】</p> <p>説明を聞いて心が和む感じがしました。より一層事業を広めていていただきたい。また、今後の継続もお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】</p> <p>読み聞かせが本との出会いの機会を増やしていると思いますので、今後、ボランティアの数を増やすよう努めていただきたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | 予算額 | | 決算額 | | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2,037,833 | 1,938,513 | | 110,415 | | | 1,828,098 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 13 | 事業名 | | コラボスクール推進委託事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---|----------|-------|------------------------|------|-----|--|------|----|-------|--------|----|------|-------|----|------|-----------|----|------|-------|----|------|------|----|-------|--------|-----|-----|-------|----|-----|-----------|----|-----|-------|----|-----|------|----|-------|--------|----|------|-------|----|----|-----------|----|----|-------|----|----|------|----|-------|--------|----|-----|-------|----|----|-----------|----|----|-------|----|-----|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 項 | 社会教育費 | | 第 2 節 | 地域全体で子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 目 | 社会教育総務費 | | (1) | 地域・家庭の教育力を強化する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | 学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1. 協働教育支援会議2回開催 9月13日 17人出席・3月6日 21人</p> <p>2. コラボスクール推進事業（市内小学校区4推進協議会へ委託）</p> <p>1) 山下小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>8回</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>2回</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>4回</td> <td>338人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>5回</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 向陽小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>18回</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>1回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>3回</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>1回</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 鹿妻小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>9回</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>1回</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 二俣小学校区コラボスクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>6回</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>1回</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | ①授業の補助 | 8回 | 180人 | ②環境整備 | 2回 | 137人 | ③登下校・安全指導 | 4回 | 338人 | ④学校行事 | 5回 | 230人 | 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | ①授業の補助 | 18回 | 82人 | ②環境整備 | 1回 | 18人 | ③登下校・安全指導 | 3回 | 61人 | ④学校行事 | 1回 | 20人 | 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | ①授業の補助 | 9回 | 132人 | ②環境整備 | 1回 | 3人 | ③登下校・安全指導 | 0回 | 0人 | ④学校行事 | 0回 | 0人 | 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | ①授業の補助 | 6回 | 68人 | ②環境整備 | 0回 | 0人 | ③登下校・安全指導 | 0回 | 0人 | ④学校行事 | 1回 | 50人 |
| 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①授業の補助 | 8回 | 180人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②環境整備 | 2回 | 137人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③登下校・安全指導 | 4回 | 338人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④学校行事 | 5回 | 230人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①授業の補助 | 18回 | 82人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②環境整備 | 1回 | 18人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③登下校・安全指導 | 3回 | 61人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④学校行事 | 1回 | 20人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①授業の補助 | 9回 | 132人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②環境整備 | 1回 | 3人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③登下校・安全指導 | 0回 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④学校行事 | 0回 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動内容 | 回数 | 参加延人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①授業の補助 | 6回 | 68人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②環境整備 | 0回 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③登下校・安全指導 | 0回 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④学校行事 | 1回 | 50人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | 4 小学校の学区とも被災した地域だったり、仮設住宅が建っていたりする地域だが、学校・家庭・地域の協働の取り組みにより事業を推進した。 協働で様々な活動に取り組むことで児童の「ふるさとを大切にできる意識」が高まり、「人と人とのつながりの大切さ」を実感させることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | 震災により被害が甚大であった地域においては、学校・地域ともばらばらになり、以前と比べると協働教育の実施が困難になっている。震災から4年目を迎え、復旧期から再生期に移行した今、子どもを地域全体で育てるために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みづくりを行い、地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子どもを育てる協働教育事業の重要性が増すものと考えている。 復興に向かう今、地域人材はもちろんのこと外部ボランティアの力も生かしながら、地域活性化につなげていきたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】</p> <p>震災後、地域のコミュニティが崩れたままで事業が難しいところもあるかと思いますが、今後とも継続していただきたいと思います。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】</p> <p>地域の子どもの数が少なくなっている現状ではありますが、一方で地域の子どもたちを育てていこうという気質がまた盛り上がりつつある感じがしますので、このような事業を今後とも続けていただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 400,000 | 399,982 | 399,982 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 14 | 事業名 | | 青少年文化芸術鑑賞事業 | | | | | | | | |
|------------|---------------------|--|----------|--------------------------|--------------------------|----------------|---------------------------------|-----|--|-----|--|-----------|--|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 5 章 | 心ゆたかな誇れるまち | 復興計画 | () | | | | | | |
| | 6 項 | 社会教育費 | | 第 3 節 | 地域に対する愛着や誇りをはぐくむ | | () | | | | | | |
| | 1 目 | 社会教育総務費 | | (1) | 多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する | | () | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。 学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。</p> | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | 1 巡回小劇場 | | | | | | | | | | | | |
| | 開催日 | | 場所 | | 公演内容 | | 鑑賞学校・鑑賞人数 | | | | | | |
| | 9月21日 | | 鹿妻小学校 | | 東京金管五重奏団「響き渡るはなやかなハーモニー」 | | 鹿妻小学校(202名) | | | | | | |
| | 10月21日 | | 桃生公民館 | | 東京金管五重奏団「響き渡るはなやかなハーモニー」 | | 中津山第一小学校・中津山第二小学校・桃生小学校(児童146名) | | | | | | |
| | 10月24日 | | 大街道小学校 | | 東京金管五重奏団「響き渡るはなやかなハーモニー」 | | 大街道小学校(児童300名) | | | | | | |
| | 2 青少年劇場小公演 | | | | | | | | | | | | |
| | 開催日 | | 場所 | | 公演内容 | | 鑑賞学校・鑑賞人数 | | | | | | |
| | 9月5日 | | 河南西中学校 | | ひとりオペラ「ペロ出しチョンマ」 | | 河南西中学校(190名) | | | | | | |
| | 9月5日 | | 北村小学校 | | ひとりオペラ「ペロ出しチョンマ」 | | 北村小学校(児童85名) | | | | | | |
| | 9月6日 | | 中里小学校 | | ひとりオペラ「ペロ出しチョンマ」 | | 中里小学校(児童生徒314名) | | | | | | |
| | 9月6日 | | 飯野川第一小学校 | | ひとりオペラ「ペロ出しチョンマ」 | | 飯野川第一小学校(児童132名) | | | | | | |
| | 3 次代を担う子どもの文化芸術体験事業 | | | | | | | | | | | | |
| | 開催日 | | 場所 | | 公演内容 | | 鑑賞学校・鑑賞人数 | | | | | | |
| | 11月1日 | | 須江小学校 | | 陶芸 | | 須江小学校(児童265名) | | | | | | |
| | 11月25日 | | 大須中学校 | | 演芸・落語芸術協会 | | 大須中学校(児童45名) | | | | | | |
| 1月28日 | | 北上小学校 | | オーケストラ・古野光昭フルノーツwith寺井尚子 | | 北上小学校(児童144名) | | | | | | | |
| 2月6日 | | 飯野川中学校 | | 児童劇・人形劇団プーク | | 飯野川中学校(児童120名) | | | | | | | |
| 成果 | | <p>児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与することができた。</p> | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>巡回小劇場等は、宮城県などが行うもので、市町村が一部の経費を負担するだけで質の高い芸術を小中学生へ提供できることから、今後とも継続していく。</p> | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 本物の芸術に触れることは、子どもの感性を豊かにするものでありますので、今後とも継続をお願いします。また、文化施設の早期建設も望まれるところですので、ご努力をお願いします。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 舞台など生の芸術に触れる機会は少ないと思うので、今後とも生の芸術に触れる機会を増やして、子どもたちにより良い環境を与え、勉強していただけるように努めていただきたい。</p> | | | | | | | | | | | |
| (単位：円) | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | 予算額 | | 決算額 | | 決算額の財源内訳 | | | | | | | |
| | | | | | | 国(県)支出金 | | 地方債 | | その他 | | 一般財源 | |
| | | 1,344,000 | | 1,344,000 | | | | | | | | 1,344,000 | |

| 事業番号 | | 15 | 事業名 | | スポーツ振興事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|--|-----------|-----------|--------------------|----------|-----------|--------|----|------|----------|----------|-----------|------------|----------|-------|---|-----|------|----|------|----|------|----|----|------|-----|----|------|--|------|--------|------|--------|-----|----|------|--|------|--------|------|--------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 5 章 | 心ゆたかな誇れるまち | 復興計画 | (4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 項 | 保健体育費 | | 第 4 節 | 安定した行財政運営を構築する | | (1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1・4 目 | 保健体育総務費・体育館費 | | (2) | 市民の主体的なスポーツ活動を支援する | | (1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | 市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、石巻ふれあいマラソン大会、市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのまきキッズ交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。(以上の6事業：スポーツ振興事業) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>1 石巻ふれあいマラソン大会 (旧石巻シーサイドマラソン大会) 震災の影響により開催中止</p> <p>2 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通し、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施しており、更に市民スポーツ参加の底辺拡大に努めた。</p> <p>3 石巻市小学生リレーマラソン大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」でいしのまきキッズ交流大会と合体して実施しており、更に市民スポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>4 いしのまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図るため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で石巻市小学生リレーマラソン大会と合体して実施し、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>5 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いかわからないという子供たちに対して、多数のスポーツ種目への体験の場を提供するため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施しており、自分に合った種目を見つけ出し、スポーツ活動に取り組む機会を創出させ、子供たちの体力の向上に努めた。</p> <p>6 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として平成25年度より「協働」で実施。楽しみながら基本的な技術を習得し、運動する喜びを感じて心身ともに健康な体づくりを目指し、受講生相互のコミュニティが形成される。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | | <ul style="list-style-type: none"> 震災による仮設住宅立地等の諸事情により、石巻ふれあいマラソン大会を中止した。 小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合同開催として実施した。 キッズバラエティスポーツ教室は10種類のスポーツを2回ずつ行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>ふれあいマラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン</th> <th>いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>0人</td> <td>314人</td> <td>0人</td> <td>375人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>689人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0人</td> <td>197人</td> <td></td> <td>800人</td> <td>1,421人</td> <td>152人</td> <td>2,570人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>0人</td> <td>153人</td> <td></td> <td>520人</td> <td>1,088人</td> <td>841人</td> <td>2,602人</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 年度 | 指標項目 | ふれあいマラソン | スポーツフェスタ | 小学リレーマラソン | いしのまきキッズ交流 | キッズバラエティ | 体育館教室 | 計 | H23 | 参加者数 | 0人 | 314人 | 0人 | 375人 | 0人 | 0人 | 689人 | H24 | 0人 | 197人 | | 800人 | 1,421人 | 152人 | 2,570人 | H25 | 0人 | 153人 | | 520人 | 1,088人 | 841人 | 2,602人 |
| 年度 | 指標項目 | ふれあいマラソン | スポーツフェスタ | 小学リレーマラソン | いしのまきキッズ交流 | キッズバラエティ | 体育館教室 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H23 | 参加者数 | 0人 | 314人 | 0人 | 375人 | 0人 | 0人 | 689人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H24 | | 0人 | 197人 | | 800人 | 1,421人 | 152人 | 2,570人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25 | | 0人 | 153人 | | 520人 | 1,088人 | 841人 | 2,602人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | 東日本大震災の影響により、石巻ふれあいマラソン大会は開催できなかったものの、体育施設の復旧状況に合わせながら、工夫を凝らした形での5事業を実施することができた。 なお、企画・運営については、特定非営利活動法人石巻市体育協会と「協働」の体制を変えず、行政主導から民間主導へと移行して実施しており、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、被災地(被災者)の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境整備及び参加意識の向上に努めた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 震災の影響が残っている中で、様々な工夫をされて事業を展開していることに敬意を表します。スポーツ振興は人づくりの一環ですので、どのような競技であっても、マナーをきちんとしつけるといった点もお願いしたいと思います。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 今後とも多くの市民が参加できるよう、環境整備に努めていただきたいと思います。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2,099,000 | 2,099,000 | | | | 2,099,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業番号 | | 16 | 事業名 | | 家庭教育学級開設事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|---|---------|----------|------------------------|------|------|--|-----|-------|------|-----|------|----|-----|--------|------|---|-----|------|------|---|----|-----|------|----|-----|--------|------|---|-----|--------|------|---|----|------|------|---|----|------|---|----|------|--------|
| 予算科目 | 10 款 | 教育費 | 総合計画 | 第 2 章 | 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち | 復興計画 | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 項 | 社会教育費 | | 第 2 節 | 地域全体で子どもたちを育成する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1 目 | 社会教育総務費 | | (1) | 地域・家庭の教育力を強化する | | () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目的及び事業内容 | | <p>家庭や親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする。幼稚園、小・中学校の保護者を対象として、各幼稚園・学校単位のニーズにあった内容で学級を開設する。また、今後は、震災で傷ついた保護者や子供の心のケアをはかり、人間同士の関わり方を学ぶ機会を設ける。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組実績 | | <p>家庭や親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立も含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>開設学級数</th> <th>開設回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>35</td> <td>78回</td> <td>5,040人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>8</td> <td>18回</td> <td>411人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>4</td> <td>7回</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>14</td> <td>23回</td> <td>1,457人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6</td> <td>15回</td> <td>2,072人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>5</td> <td>6回</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4</td> <td>7回</td> <td>170人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76</td> <td>154回</td> <td>9,429人</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | 区 分 | 開設学級数 | 開設回数 | 参加者 | 石巻地区 | 35 | 78回 | 5,040人 | 河北地区 | 8 | 18回 | 411人 | 雄勝地区 | 4 | 7回 | 99人 | 河南地区 | 14 | 23回 | 1,457人 | 桃生地区 | 6 | 15回 | 2,072人 | 北上地区 | 5 | 6回 | 180人 | 牡鹿地区 | 4 | 7回 | 170人 | 計 | 76 | 154回 | 9,429人 |
| 区 分 | 開設学級数 | 開設回数 | 参加者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石巻地区 | 35 | 78回 | 5,040人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 河北地区 | 8 | 18回 | 411人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雄勝地区 | 4 | 7回 | 99人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 河南地区 | 14 | 23回 | 1,457人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 桃生地区 | 6 | 15回 | 2,072人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北上地区 | 5 | 6回 | 180人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 牡鹿地区 | 4 | 7回 | 170人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 76 | 154回 | 9,429人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成 果 | | <p>受講生のニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法の実施により、子どもの心身の発達に即した子育てや家庭学級のあり方についての理解が深まり、豊かな知識と情操、社会性を養うことができた。</p> <p>なお、東日本大震災により家庭教育学級の活動に支障をきたしている学校等があるため、より一層支援をしていく必要がある。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果に係る評価 | | <p>地域連帯の希薄化、核家族化などにより子どもを育てる環境は悪化しているため、地域・学校・家庭の交流の場づくりや学習支援や学習情報の提供が重要になってきている。今後も、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の大切さを理解していただきながら、家庭教育の担い手である親への学習機会や学習内容、情報提供等を一層充実していく。なお、学習内容の質の向上にも心がけていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学識経験者からの意見 | | <p>【菅井吉秀 氏】 事業を廃止した場合はどうなるのか。続けてほしいという声が強くなるのかどうか。もちろん学級を開設する意義はありますが、参加人数を考えるとどうなのか、見通しを立てておく必要もありますし、今後の検討課題にさせていただきたいと思います。</p> <p>【佐藤祐樹 氏】 かなり広範囲に及ぶ大変な事業であると思います。今後ともご支援をお願いします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算の執行状況 | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 予算額 | 決算額 | 決算額の財源内訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 国(県)支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 698,000 | 698,000 | 698,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |